

平成25年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

平成25年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成25年12月3日(火)～4日(水)に浅草ビューホテルにおいて開催された。
この検討会には、試験場関係者57名、委託関係者55名ほか、計128名の参集を得て、除草剤50薬剤(238点)、

生育調節剤3薬剤(14点)、展着剤1薬剤(2点)について、試験成績の報告と検討が行われた。
その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成25年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)判定のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

薬剤名 有効成分及び含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	
1.AC-263液 イマザモックスアンモニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	いんげんまめ(菜豆)	実・継	一年生広葉雑草	茎葉兼土壌	菜豆いんげんまめ出芽直前～出芽期(雑草発生始期～本葉展開期)	200～300mL<水量100L>	全土壌(砂土を除く)	寒地 北海道	・金時類に限る ・畦間処理での効果、葉害の確認 ・手亡類での効果、葉害の確認
2.AH-01液 グルホネートPナトリウム塩:11.5% [Meiji Seikaファルマ北興化学工業]	そば	実・継	一年生雑草、多年生雑草	茎葉	耕起または播種7日前雑草生育期(草丈30cm以下)	300～500mL<水量100～150L>	全土壌	全域	・播種前処理での葉害の確認 ・畦間処理での効果、葉害の確認 ・雑草の草丈30cmまでの時期に散布する。 ・作物にかからないよう散布する。
			一年生雑草	茎葉(畦間)	そば生育期、雑草生育期				
3.AK-01液 グリホサートイソプロピルアミン塩:41% [TAC普及会]	ばれいしょ	実	一年生雑草	茎葉	耕起または植付前、雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500mL<水量100L>	全土壌	全域	
4.AL-513乳 アラコロール30%、リニロン12% [日産化学工業]	大豆	実・雑実(従来どおり)	一年生雑草	土壌	播種後出芽前、雑草発生前	400～600mL<水量100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・ツクサに対する年次変動の確認
			ツクサ			600～800mL<水量100L>			
5.ALH-0831乳 グリトドム24% [アリストライサイエンス]	ばれいしょ	実・継(従来どおり)	一年生イネ科雑草	茎葉	ばれいしょ生育期、イネ科雑草3～6葉期	50～75mL<水量100L>	全土壌(砂土を除く)	全域	・低薬量ではスズメノカタビラに効果が劣る場合がある ・効果、葉害の年次変動の確認(東北以南)
	てんさい	実	一年生イネ科雑草	茎葉	てんさい生育期、イネ科雑草3～5葉期	35～50mL<水量100L>			
			多年生イネ科雑草(シバムギ、レットトップ)		てんさい生育期、多年生イネ科雑草3～5葉期	50～75mL<水量100L>			

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
6.ANK-553(改) 乳 ベンデメタリン:30% [BASFジャパン]	いんちんこ う	実	一年生雑 草	土壌	定植後、雑 草発生前	300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・キク科、ツクサには効果が 劣る	
	とうき	実	一年生雑 草	土壌	定植後、雑 草発生前	300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・キク科、ツクサには効果が 劣る	
	びやくし	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・キク科、ツクサには効果が 劣る	
7.BAH-0805乳 ジメテナミドP 19.7%、 ベンデメタリン 23.1% [BASFジャパン]	ばれいしよ	実・継 実	一年生雑 草	土壌	植付後萌芽 前、雑草発 生前	200～ 400mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・一過性の縮葉が生じる 場合がある	・年次変動の確認 (北海道)
8.BAH-1114 乳 ジメテナミドP:6.7% ベンデメタリン:6.5% リニロン:11.4% [BASFジャパン]	大豆	実・継 実(従 来ど おり)	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	400～ 600mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・年次変動の確認 (北海道)
9.BAS-656乳 ジメテナミドP 64% [BASFジャパン]	いんげんま め(菜豆)	—								
10.BCH-081フロ アブル シフルフェニカン 8.4% フルフェナセット 33.6% [ハイエルクロップサイ エンス]	春播小麦	実・継	一年生雑 草(スズメナ タビラ、イヌ ミルを含む)	茎葉兼 土壌	播種後～小 麦3葉期、イ ネ科雑草1葉 期まで	60～80mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・葉に白斑や黄化、褐変を 生じる場合がある。	・散布水量70L/10a での効果、葉害の確 認
11.DAH-1201 フ ロアブル プロピザミド:36% [タウケミカル日本]	てんさい (移植)	—								(作用性)
12.HCW-201フロ アブル DCMU 50% [保土谷UPL、 北興化学]	さとうきび (株出し)	実・継 (従来 どお り)	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	160～ 200mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ムラサキカタバミには効果が 劣る場合がある	・さとうきび萌芽前、 雑草発生前での 除草効果、葉害の 確認
	さとうきび (春植え)	実・継 実	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉兼 土壌	さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)	100～ 150mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ムラサキカタバミには効果が 劣る場合がある	・さとうきび萌芽前、 雑草発生前での 効果、葉害の確認
	さとうきび (夏植え)	実・継 (従来 どお り)	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉兼 土壌	さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)	100～ 150mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ムラサキカタバミには効果が 劣る場合がある	・多年生広葉雑草に 対する効果につい て年次変動の確認 ・さとうきび萌芽前、 雑草発生前での 効果、葉害の確認
13.HMB-0901 フ ロアブル フェンメジアム:9% メタミロン:27% [ホクサン]	てんさい (直播)	継								・効果、葉害の確認
14.Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [ハイエルクロップサイ エンス]	かんしょ	実・継	一年生雑 草	茎葉兼 (畦間)	挿苗後、雑 草生育期	200～ 300500mL <水量 100L>	全土壌	温暖地、 暖地 東北以南	・雑草の草丈20cmまでの 時期に散布する。 ・作物にかからないよう散 布する。	・薬量500mL/10a処 理での年次変動の 確認

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
15.HSW-062 フロアブル インダノファン 10.1% ジフルフェニカン 4.0% [ホクサン]	春播小麦	雑								・効果、葉害の確認
16.KUH-112 乳 ピロキサスルホン: 0.88% ヘンチオカーブ: 57.7% リニユロン:10.5% [クミアイ化学工業]	大豆	寒	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	500～ 600mL<水 量70～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南		
17.KUH-112 細 粒 ピロキサスルホン: 0.1% ヘンチオカーブ: 6.6% リニユロン:1.2% [クミアイ化学工業]	大豆	雑								・効果、葉害の確認
18.MAH-1001フロ アブル プロベキサホップ 10% [マクテム・アガン・ ジャパン]	大豆	寒	一年生イネ 科雑草	茎葉	大豆生育 期、イネ科雑 草3～6葉期	100～ 150mL<水 量80L>	全土壌	北海道	・スズメカラヒラを除く	
19.MAH-1201 顆粒水和 DCMU:80.0% [マクテム・アガン・ ジャパン]	さとうきび (株出し)	寒・雑 ※	一年生雑 草	土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	100～ 150g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・年次変動の確認 ・萌芽前、雑草発生 前での年次変動の 確認
			※収量調査をもつ て判断する							
	一年生広 葉雑草、多 年生広葉 雑草	茎葉	さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)							
さとうきび (春植え)	寒・雑	一年生雑 草	土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	100～ 150g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・植付覆土後、雑草 発生前での効果、葉 害の確認 ・さとうきび生育期、 雑草生育期での除 草効果の確認 ・さとうきび生育期、 雑草発生期での多 年生広葉雑草に対 する効果の確認	
		一年生広 葉雑草	茎葉	さとうきび生 育期、雑草 生育期(草丈 15cm以下)						
さとうきび (夏植え)	保留 (寒・ 雑)	一年生雑 草	土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	100～ 150g<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・植付覆土後、雑草 発生前での年次変 動の確認 ・さとうきび生育期、 雑草生育期での効 果、葉害の確認	
※収量調査をもつ て判断する										
20.MBH-118乳 (旧KUH-959) フルチアセットメチル 5% [丸和バイオケミカ ル]	飼料用とう もろこし	寒・雑	イデビ	茎葉	とうもろこし4 葉以上、イ デビ3～5葉期	5～10mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・イネ科雑草対象の土壌処 理剤と体系処理する ・処理時の葉に過性の 白斑を生じる場合がある ・処理時の葉に葉害(黄 斑、褐斑、穴あき、折損)が 生じる場合がある	・年次変動の確認 (北海道) ・一年生広葉雑草に 対する除草効果の 確認
					とうもろこし4 葉以上、イ デビ5～8葉期					
21.MBH-135 乳 フルチアセットメチル 2% [丸和バイオケミカ ル]	大豆	雑								・効果、葉害の確認

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		
22.NC-331水和 ハロスルフロメチル 5% [日産化学工業]	飼料用とう もろこし	実・雑	イビ	茎葉	とうもろこし3 ～5葉期、 イビ2～5葉 期	50～100g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ハネダに対する効 果の確認 ・暖地での効果の確 認 ・一年生広葉雑草に 対する効果の確認 ・キクイモに対する年 次変動の確認	
			ショクヨウガイ ツリ		ショクヨウガイツ リ			東北以南		
			キクイモ		とうもろこし5 葉期、 キクイモ生育期	50～75g <水量 100L>		北海道		
23.NC-360フロア ブル キサロップエチル 7% [日産化学工業]	そば	実	一年生イ 科雑草	茎葉	そば生育 期、イ科雑 草3～6葉期	200～ 300mL<水 量25～ 100L>	全土壌	全域	・スズノカタビラを除く ・体系処理:広葉雑草対 象の土壌処理剤を使用す る。 ・少量散布(25L)の場合 は専用ノズルを使用する。	
24.NH-007フロア ブル グリホサートイソプロピ ルアミン塩:30.0% ピラフルフェンエチ ル:0.16% [日本農薬]	大豆	実・雑	一年生雑 草	茎葉	耕起または 播種10日以 前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	400～ 600mL <水量 100L>	全土壌	東北以南	・播種後出芽前処理 での年次変動の確 認(東北以南) ・多年生雑草に対す る効果の確認(東北 以南) ・畦間処理での効 果、葉害の確認(東 北以南)	
				茎葉 (畦間)	大豆生育 期、雑草生 育期					・雑草の草丈30cmまでの 時期に散布する。 ・作物にかからないよう散 布する。
25.NK-1101 水 和 S-トラクロー ル:24.8% プロトリン:26.6% [日本化薬]	大豆	実・雑	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	225～ 300g<水 量70～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・年次変動の確認 (北海道)	
	いんげんま め(菜豆)	実・雑	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	225～ 300g<水 量70～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・年次変動の確認 (北海道)	
	べにばな いんげん	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	225～ 300g<水 量70～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
26.NP-55乳 セトキシム 20% [日本曹達]	いんげんま め(菜豆)	実・雑 実	一年生イ 科雑草(ス ズノカタビ ラを除く)	茎葉	菜豆いんげ んまめ生育 期、イ科雑 草3～5葉 期	150～ 200mL <水量 100L>	全土壌	全域	・イ科雑草優占圃場で使 用する ・スズノカタビラを除く ・体系処理:広葉雑草対 象の土壌処理剤を使用する	・イ科雑草6～8葉 期処理での年次変 動の確認(北海道)
			菜豆いんげ んまめ生育 期、イ科雑 草6～8葉 期 (草丈30cm 以下)	200mL <水量 100～ 150L>						
	そば	実・雑 実	一年生イ 科雑草(ス ズノカタビ ラを除く)	茎葉	そば生育 期、イ科雑 草3～5葉 期	150～ 200mL <水量 100L>	全土壌	全域	・イ科雑草優占圃場で使 用する ・スズノカタビラを除く	・イ科雑草6～8葉 期処理での年次変 動の確認 ・イ科雑草6～8葉 期、散布水量 150L/10aでの効 果、葉害の確認
			そば生育 期、イ科雑 草6～8葉 期 (草丈30cm 以下)	200ml <水量100 ～150L>						
	とうき	雑							・効果、葉害の確認	
	みしまさい こ	雑							・効果、葉害の確認	

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
27.NP-65液 トブラマン 3.6% [日本曹達]	とうもろこし (飼料用)	実・継	一年生雑草	茎葉	とうもろこし3 ~5葉期、雑 草3~5葉期	100~ 150mL <水量100 ~150L>	全土壌	全域		・とうもろこし6~7葉 期での年次変動の 確認
28.S-482顆粒水 和 フルミオキサシ 50% [住友化学]	ばれいしよ	—								(作用性)
29.SB-920 乳 d-リモネン 70% [エス・ディー・エスバ イオテック]	大豆	継								・効果、葉害の確認
30.SL-236(L)乳 フルアジホップP 17.5% [石原バイオサイエン ス]	大豆	実・継	一年生イ ネ科雑草 (スズメノカタ ビラを除く)	茎葉	大豆生育期 イネ科雑草3 ~5葉期	75~ 100mL <水量25 ~100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・スズメノカタビラを除く ・体系処理・広葉雑草対 象の土壌処理剤を使用す る ・高温条件では高年齢の イネ科雑草に低薬量で効 果が劣る ・少水量散布(25~50L) の場合は専用ノズルを使用 する	・少水量(25~50L) 散布での効果の確 認(草丈30cm以下) ・薬量200mL、水量 25Lでの効果の確認 (草丈30cm以下) ・薬量100~ 125mL、水量25Lで の年次変動の確認 (草丈30cm以下)
	ばれいしよ	実・継 実	一年生イ ネ科雑草 (スズメノカタ ビラを除く)	茎葉	ばれいしよ生 育期 イネ科雑草3 ~8葉期(草 丈30cm以 下)	75~ 100mL <水量25 ~100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草優占圃場で使用 する ・スズメノカタビラを除く ・体系処理・広葉雑草対 象の土壌処理剤を使用す る ・少水量散布(25~50L) の場合は専用ノズルを使用 する	・イネ科雑草6~8葉 期での年次変動の 確認
31.SL-573 フロアブル SL-573(新規) 10.4% [石原バイオサイエン ス]	とうもろこし (飼料用お よび食用)	実・継	一年生雑 草	茎葉	とうもろこし3 ~5葉期、雑 草生育期(草 丈15cm以 下)	30~ 50mL<水 量100L>	全土壌	全域		・年次変動の確認 (北海道)
32.SL-1201 フロアブル マトロムロン (SL-1101) 42.1% [石原バイオサイエン ス]	大豆	継								・効果、葉害の確認
	小豆	継								・効果、葉害の確認
	いんげんま め(菜豆)	継								・効果、葉害の確認
	ばれいしよ	継								・効果、葉害の確認
33.SYJ-100 乳 プロスホルカルフ 78.4% [シンジエンタジヤハ ン]	とうもろこし (飼料用お よび食用)	実(従 来ど おり)	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前 雑草発 生前	400~ 500mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・低薬量ではイネ科雑草に 効果が劣る場合がある	
	ばれいしよ	実(従 来ど おり)	一年生雑 草	土壌	植付後萌芽 前 雑草発 生前	400~ 500mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域		
	大麦	継								・効果、葉害の確認

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
34.UPH-002 フロアブル フェンメチファム 16% [保土谷UPL]	てんさい (直播)	実(従 来ど おり)	一年生広 葉雑草	茎葉	てんさい2薬 期以降、 雑草発生揃 期	400～ 600mL <水量 100L>	全土壌	全域	・低薬量では効果が劣る 場合がある	
35.トリフルラリン 乳 トリフルラリン:44.5% [タウ・ケカル日本]	かのごそう	実	一年生雑 草	土壌	植付後萌芽 前、雑草発 生前	300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ツクサ科、カヤツグサ科、キ 科、アブラナ科には効果が 劣る	
	大豆	実・継 (従来 どお り)	一年生雑 草	土壌 土壌 (畦間)	播種後出芽 前、雑草発 生前 中耕培土後 雑草発生前	200～ 300mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を 除く)	全域	・ツクサ科、カヤツグサ科、キ 科、アブラナ科には効果が 劣る	・中耕培土後の、畦 間・株間処理での効 果、葉害の確認 ・播種後出芽前処理 について北海道で の年次変動の確認 ・土壌混和処理での 効果、葉害の確認
36.フェンメチファム 乳 フェンメチファム 14.7% [ホクサン]	てんさい (直播)	実・継 (従来 どお り)	一年生広 葉雑草	茎葉	中耕除草 後、雑草発 生揃	500～ 600mL<水 量50～ 80L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・前処理後発生した雑草 を対象とする。	・子葉展開期での効 果、葉害の確認

B.生育調節剤

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1.AF-1くん蒸 1-メチルシクロプロペ ン 3.3% [ロム・アント・ハース ジャパン]	ばれいしよ	継								・効果、葉害の確認
2.NGR-1201 乳 ピラフルフェンエチル 0.8% [日本農薬]	ばれいしよ	継								・効果、葉害の確認

C.展着剤

薬剤名 有効成分及び含 有率(%)	作物名	判定	試験された使用法						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1.HSK-001 展着 剤 ポリオキシエチレント デシルエーテル 78.0% [ホクサン]	てんさい (移植)	-								